

サクラのめりえでペーパークラフト

見本と解説

日本に自生する(もともと野山に生えている)サクラは9種類*
 ですが、私たちの身の回りには日本や日本周辺の野生のサクラからできた栽培品種がたくさんあります。
 ここでご紹介するのはそんなサクラのほんの一部です。
 みなさんも自分のお気に入りのサクラを探してみてください。

* カンヒザクラを数えない場合

参考文献およびURL

『サクラハンドブック』 大原隆明 著, 文一総合出版, 2009年発行
 『新日本の桜』 木原浩 写真 大場秀章, 川崎哲也, 田中秀明 解説,
 山と溪谷社, 2007年発行
 『日本の桜』 勝木俊雄 著, 学習研究社, 2001年発行
 桜図鑑(公益財団法人日本花の会)
<http://www.hananokai.or.jp/sakura-zukan/> (2021年3月閲覧)



マメザクラ(豆桜)

日本に自生する。本州(富士・箱根を中心に関東・中部地方)に分布する。



写真は見ごろの状態
 花弁が開かずベルのようになる

カンヒザクラ(寒緋桜)

中国南部、台湾に自生する。沖縄県久米島や石垣島のものを自生とする説もある。神奈川県内にも植栽されている。



オオシマザクラ(大島桜)

日本に自生する。伊豆諸島・伊豆半島に特産し、関東南部のものは植栽されたものが野生化したと考えられている。葉は桜もち等に利用される。



ソメイヨシノ(染井吉野)

オオシマザクラとエドヒガンの雑種と考えられている。全国的に植えられている栽培品種。



カワヅザクラ(河津桜)

カンヒザクラと不明のサクラの雑種。不明のサクラをオオシマザクラとする説がある。早咲きの栽培品種。



花弁はあまり開かず
 やや、つぼみぎみ

オカメ

イギリスの桜研究家がカンヒザクラとマメザクラを交配して作った。早咲きの栽培品種。